

事務事業名	塚原古墳群保存整備事業		会計	一般会計				
			事業種別	政策	開始	12	終了	28
課等名	生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第1係					
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
	施策	63	地域資産の保存・継承					

目的	対象(誰・何を)	塚原古墳群		対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	保存整備を行うとともに、学習の場として活用しながら後世に継承する			古墳数(基)			16
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承への支援			塚原古墳群の面積(m ²)			72000

目標	種別	指標名及び単位	24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標		整備管理している面積(m ²)	7550	7550	7550	7550
成果指標		古墳を活用した学習活動等の回数(単年度:回)	15	7	10	20	
定性目標							

事業概要

・飯田市は23基の前方後円墳をはじめ多くの古墳が残り、長野県下でも古墳時代の中核的な地域であった。こうした背景には、当地域が馬生産に携わり、わが国の政治経済上で重要な役割を果たした地域として、当時の中央政權との強いつながりがあったことがわかっており、全国的にも注目されている。塚原古墳群は、市内に存在する古墳の中でも歴史的価値において中核をなすものであり、古墳時代の墓域の景観を良好にとどめる古墳群として貴重である。

・本事業は、塚原古墳群を核とする特色ある人づくり・まちづくりの拠点として古墳の整備・活用を図ることを目的としている。平成19～21年度に塚原二子塚古墳の範囲確認調査を実施して23年度に報告書を刊行した。

・将来的な整備・活用は、学識経験者による専門的な指導を受けながら、地域との協働により保存整備計画を策定して進める。

事業内容		名称	活動指標
24年度事業内容	1 史跡指定に向けての文化庁・県教委視察及び調整等	1 実施回数	1 2回
	2 古墳の非破壊調査(レーダー探査)の実施	2 調査対象古墳数	2 1基
	3 塚原古墳群の保存活用に關わる庁内調整等	3 実施回数	3 1回
	4 塚原古墳群についての内外への情報発信等	4 実施回数	4 2回
	5 地域との協働による学習会・保護活動・検討会等の実施	5 実施回数	5 7回

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	2,400	2,405	2,400	2,400	(国)国宝重要文化財等保護整備費補助金(埋文発掘)(1/2)
国庫支出金	1,200	1,200	1,200	1,200	
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,200	1,205	1,200	1,200	
人件費計(千円)②	3,576		3,576		
正規職員所要時間	1,000		1,000		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	5,976	2,405	5,976	2,400	

事業内容・目標達成状況の振り返り

塚原二子塚古墳後円部の非破壊調査(レーダー探査)を実施し、今後、埋葬施設の確認調査をする上で参考となる知見を得ることができた。

改革改善の考え方

①問題点 継続的な調査研究を進めているが、古墳の実態把握が不十分で確認調査が必要な古墳が存在する。将来的な古墳の保護のために、土地利用状況などの把握を行い、保護策について基本的な方針を策定する必要がある。

②改革提案 古墳の状況把握を行い、計画的に調査を実施する。調査は発掘による確認調査とともに、古墳の破壊を最小限に抑えるためのレーダー探査等を組み合わせて効果的に行う。市としての基本方針を策定する。